

# RESAS

を分析してみよう

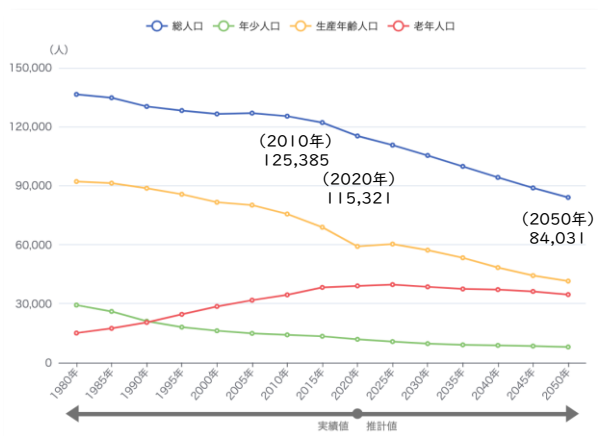
## 大分県 別府市

RESAS (地域経済分析システム) は、地域経済に関する様々なデータ (産業の強み、人の流れ、人口動態など) をグラフで分かりやすく「見える化 (可視化)」したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、ぜひ参考にしてみてください。

## 人口

<https://resas.go.jp>

RESAS



\*人口マップ→人口構成→人口推移

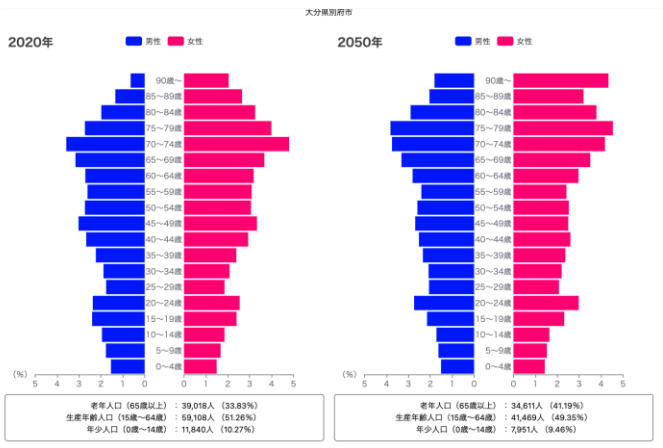
## 年齢別人口推移

2020年の人口は総人口115,321人。10年前(2010年)の125,385人と比較して減少しており、今後も減少傾向が続く見込みである。また、年齢別に将来の傾向をみると、総人口や生産年齢人口は減少傾向の一方、老年人口はゆるやかな減少～横ばいであり、老年人口割合が増加する傾向にある。よって、少子高齢化が一層進んでいく地域である。

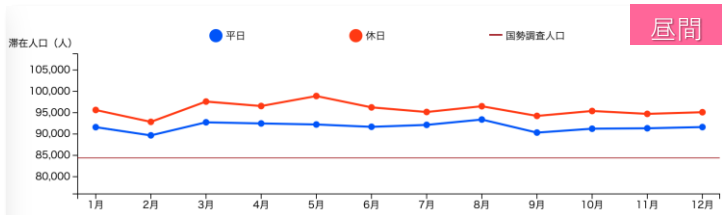
※年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15～64歳、老年人口は65歳以上をさす。

## 人口ピラミッド

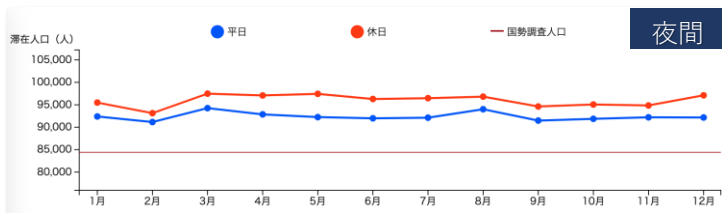
現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。2020年、2050年の人口ピラミッドは共に「つば型」である。老年人口の割合をみると、2020年の33.83%から2050年には41.19%まで増加する。一方、生産年齢人口は2020年の51.26%から49.35%まで減少する見込みである。



\*人口マップ→人口構成→人口ピラミッド



昼間



夜間

\*まちづくりマップ→滞在人口率

## 滞在人口

(2022年、上：昼間、下：夜間)

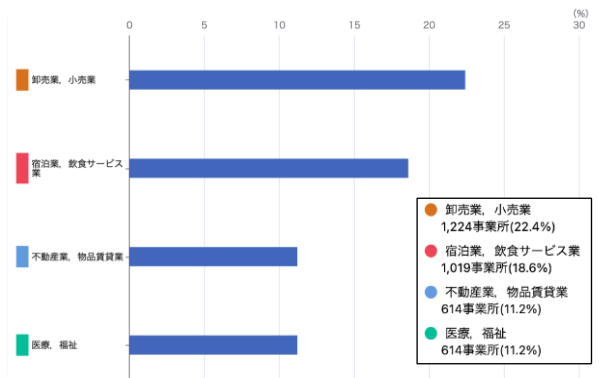
携帯電話の位置情報を元に、市内に滞在している人の数を月毎に示したグラフである。

昼間、夜間共に平日より休日の人口滞在が多いため、休日は市外から宿泊での滞在が多いことが読み取れる。

※昼間は14時、夜間は20時のデータ

# 産業構造

事業所数(事業所単位):5,472事業所

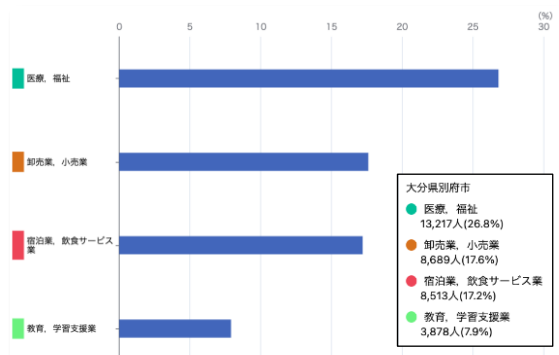


\*産業構造マップ→全産業→全産業の構造

## 事業所数(事業所単位)大分類(2021年)

業種ごとの事業所数を示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業、小売業」の1,224事業所で、全体の22.4%を占めている。その後「宿泊業、飲食サービス業」の1,019事業所18.6%が続く。

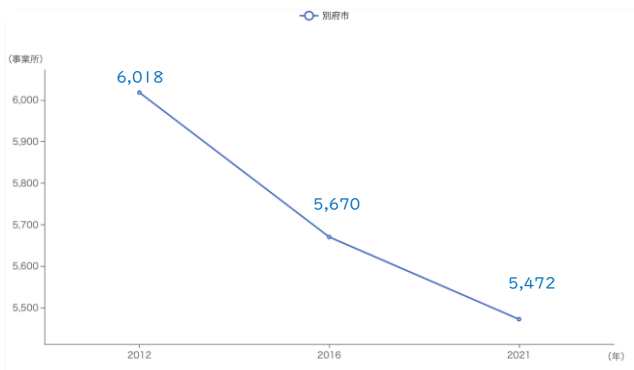
従業者数(事業所単位):49,396人



\*産業構造マップ→全産業→全産業の構造

## 従業者数(2021年)

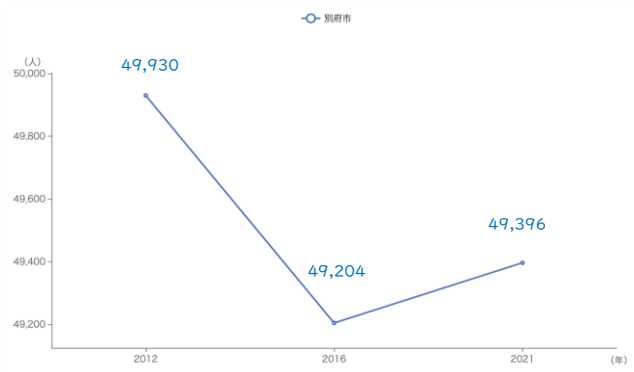
業種ごとの従業者数を示したグラフである。もっとも多いのは「医療、福祉」の13,217人で、全体の26.8%を占めている。その後「卸売業、小売業」の8,689人17.6%、「宿泊業、飲食サービス業」の8,513人17.2%が続く。



\*産業構造マップ→全産業→事業所数

## 事業所数の推移

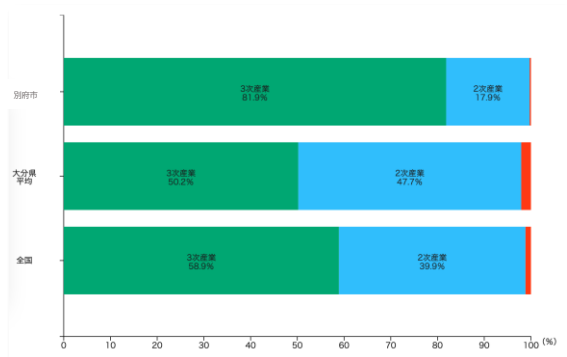
事業所数の推移をみる。2021年は5,472事業所。5年前の2016年は5,670事業所だったので、比較すると3.5%減少している。



\*産業構造マップ→全産業→従業者数(事業所単位)

## 従業者数の推移

従業者数の推移を見る。2021年は49,396人、5年前の2016年と比較すると0.4%増加している。



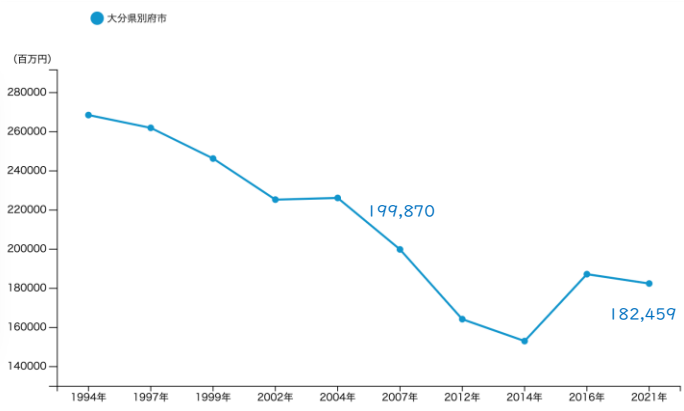
\*地域経済循環マップ→生産分析

## 地域内産業の構成割合

別府市の産業の構成割合を全国および大分県と比較したグラフである。2次産業の割合が17.9%であり、全国の39.9%と比べて低い。一方、3次産業の割合は、81.9%と全国の58.9%に比べて高い。

- \*1次産業・・・農業、林業、漁業など
- \*2次産業・・・製造業、建設業、工業など
- \*3次産業・・・商業、金融業、医療・福祉・教育などのサービス業や、外食産業・情報通信産業など

# 小売業・卸売業



\*産業構造マップ→小売・卸売業→年間商品販売額

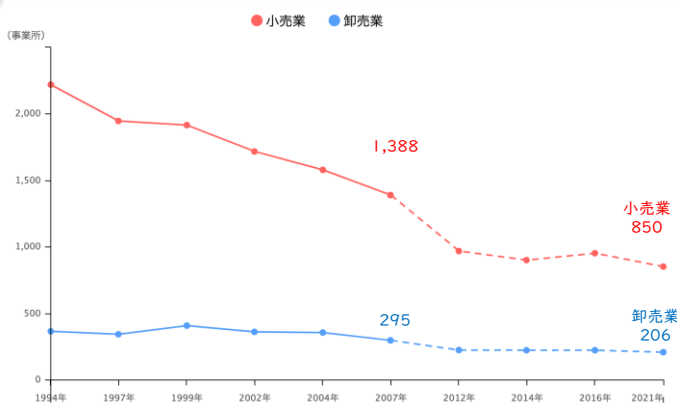
## 事業所数(小売業・卸売業)の推移

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。2021年の事業所数は、小売業850事業所、卸売業206事業所である。2007年と比較すると、小売業は38.8%減、卸売業は30.2%減となっている。

\*グラフ上の破線は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「産業統計調査」と「経済センサス活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間の比較が行えないことを示している。

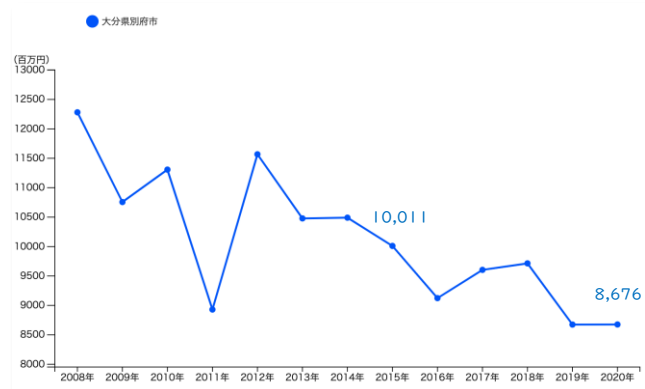
## 年間商品販売額の推移

小売業・卸売業の年間商品販売額の推移を示したグラフである。2021年の販売額は182,459百万円である。14年前の2007年と比較すると199,870百万円なので、8.7%減である。



\*産業構造マップ→小売・卸売業→商業の構造

# 製造業



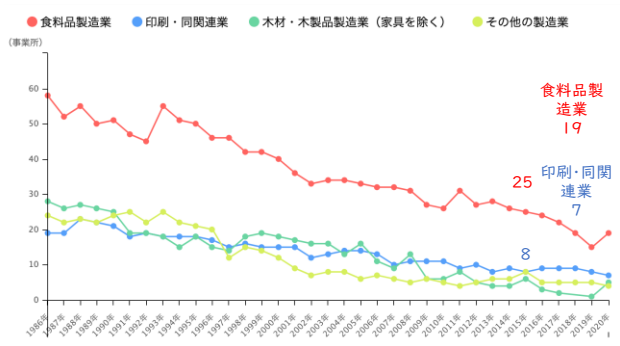
\*産業構造マップ→製造業→製造品出荷額等

## 製造品出荷額等の推移

製造業の製造品出荷額等の推移を示したグラフである。2020年製造品出荷額等は、8,676百万円である。2015年と比較すると10,011百万円なので、13.3%減である。

## 事業所数(主要製造業)の推移

主要製造業の事業所数の推移を示したグラフである。  
①食料品製造業、②印刷・同関連業が多い。  
2015年と比べると、①食料品製造業、②印刷・同関連業ともに減少している。



\*産業構造マップ→製造業→製造業の構造

